地域と母子を繋げる古民家の母子シェアハウス

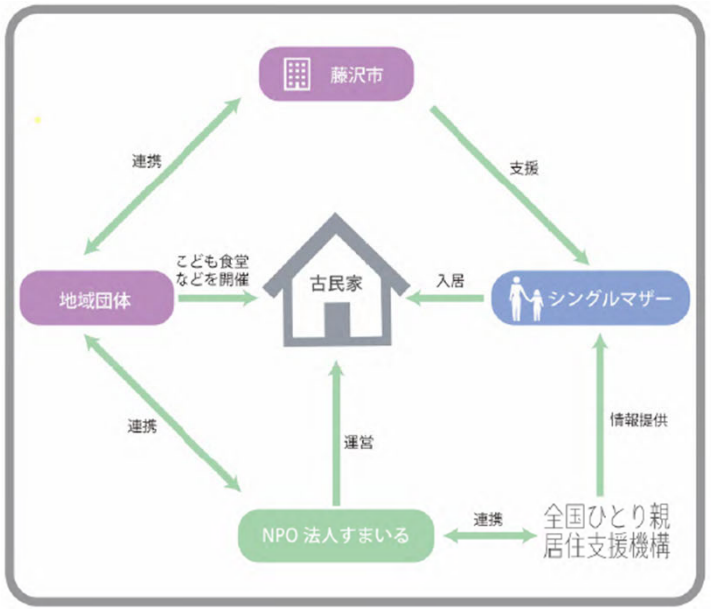
国土交通省
令和元年度　採択提案
事業テーマ:事業者提案型

古民家を交流機能を持つ母子シェアハウスに改修し、母子世帯の住まい確保と地域での孤立防止の環境整備を図る。

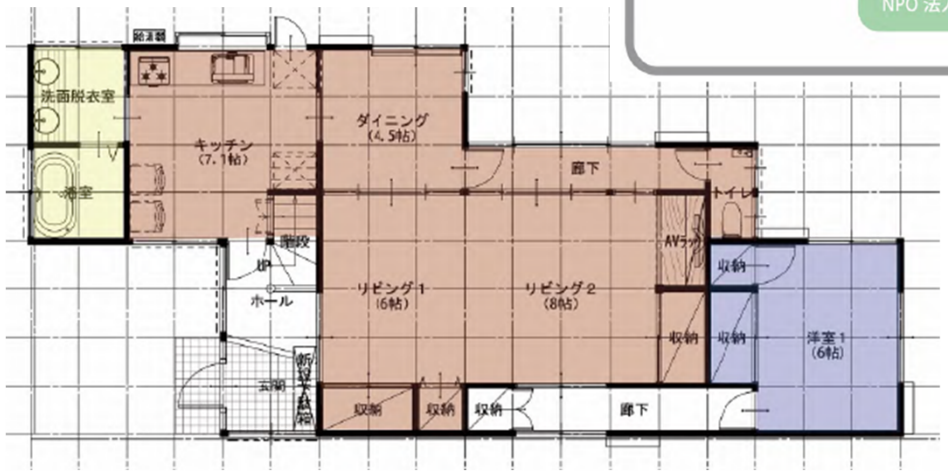
- ひとり親世帯、特に母子世帯については、母子が安心して住まうことができる住宅の確保が喫緊の課題である。
- 本提案は、生活利便性の高い立地にある空き家を、母子シェアハウスに改修するものである。また、共用部を地域広場として開放し、地域の多様な家族が顔見知りになれる環境整備を併せて行う。本プロジェクトの情報を発信していくことで、全国的に同様の事例が立ち上がることを目指している。

建物正面

体制図



改修後のイメージ



事業概要

代表提案者	一般社団法人全国古民家再生協会
共同提案者	特定非営利活動法人全国ひとり親居住支援機構、特定非営利活動法人すまいる、株式会社てらだ設計室、晴建築工房株式会社
事業実施場所	神奈川県藤沢市
事業実施内容	住宅の改修（2階建て、1棟：シェアハウス、交流施設）、立ち上げの仕組みづくり、、ホームページ構築、冊子・チラシの制作 等
事業実施期間	令和元年11月～令和2年6月

評価委員会での評価内容

- ひとり親世帯、特に母子世帯への居住支援は、社会的に急務な課題であり、地域の未利用ストックを活用する点も意義がある。
- 一方、地域の関係機関や関係者とのネットワーク構築 、波及に向けた事業運営のあり方については、十分に検討しながら実施する必要がある。